

東日本ユニオンにいがた

http://www.geocities.jp/higashinihonunion_niigata/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2018年11月10日発行

第8号 (通巻第108号)

発行者: 星山 圭 編集者: 教育・広報部

安全で安定した冬期体制実現を

申1号2018年度「冬期の取組み」に対する申し入れ

2017年度の冬期は大雪に見舞われ、新潟支社管内では多くの輸送障害が発生しました。信越本線444Mが東光寺く帯織間で15時間以上にわたり立ち往生したのをはじめ、列車の運休や遅延も相次ぎました。

新潟地本は昨冬の事象を教訓として、申8号「信越本線444M東光寺く帯織間にて雪を抱えて停車した事象に対する説明申し入れ」、申23号「2017年度冬期に発生した問題に関する申し入れ」などの団体交渉を通じて議論を重ね、労使で認識の一致を図ってきました。

10月10日に支社側より提案を受けた「2018年度冬期の取組み」は、この間組合側が主張してきた内容が一定程度取り入れ

◆ 申1号 申し入れ項目 ◆

1. 長岡車両センターに専用MRを配備すること。
2. 簡易型乗用除雪機「とらん丸」の教育体制について明らかにすること。
3. 車両に搭載するデスコン棒を取り扱う箇所へ教育を行うこと。
4. E129系ブレイキedis
5. E129系ブレイキedis
6. 制輪子凍結対応の検修
7. 冬期における信越B卓と常時連絡が取れる体制を構築すること。
8. 雪害時における運転規
9. ビームからの落雪が予想される場合の注意運転速度の根拠を明らかにすること。
10. 雪況カメラ映像を基にした運転可否の判断は、誰が何を基準に行うのか明らかにすること。
11. 除雪間合いで列車を運転させないこと。
12. ホームの無い線路に着発線変更で旅客列車を進入させないこと。
13. ポイント不転時、乗務員に除雪させないこと。
14. 冬期間における新潟支社の踏切故障の取り扱いについて明らかにすること。
15. E653系トイレ故障対策を明らかにすること。
16. 越後湯沢駅の冬期要員(営業)を3月末日までとする。
17. 越後湯沢・ガーラ湯沢駅の公募制に何名の応募があったか明らかにすること。
18. 各駅前ロータリーの除雪体制を明らかにすること。
19. 上沼垂信号場構内の95号・96号、41号のポインヒーターの効果改善すること。
20. 上沼垂信号場構内、紫竹踏切の3D障害物検知装置に雪に反応しない構造とすること。
21. 上沼垂信号場の冬期間泊り勤務を2名体制とすること(当務助役除く)
22. バスによる代行輸送を実施する基準を明らかにすること。
23. 新潟駅高架部分及び新潟駅高架電留線の除雪体制を明らかにすること。
24. 消雪設備のメンテナンスは、定期的にメンテナンスできる仕組みとすること。
25. 長島駅下り本線に軌間内消雪シートを設置すること。
26. 長岡駅構内のスプリンクラー水が出るように改善すること。
27. 旧越後湯沢保線技術センターで行っていた冬期間整備業務について今冬期はどがおこなうのか明らかにすること。また、その業務フローを明らかにすること。
28. 投排雪・MRの教育内容・計画を明らかにすること。
29. 長岡駅構内の流雪溝の使用の可否をあきらかにすること。また、流雪溝の使用用途を明らかにすること。
30. 信越北(長岡く羽生田間)の投排雪保守用車の運用基準を明らかにすること。
31. 除雪優先順位で、運
32. 越後湯沢エリアセンター管内の除雪体制を明らかにすること。また、従来と直外区分の変更がある業務内容を明らかにすること。



東日本ユニオンに 結集しよう!



東京地本・長野地本など 各地で新たな仲間が相次いでいます!

10月27日、新津運輸区講習室において新津地区分会第6回定期大会を組合員34名の参加で開催しました。



いまこそ団結力と問題解決力を発揮しよう

10月27日、新津運輸区講習室において新津地区分会第6回定期大会を組合員34名の参加で開催しました。



(新津地区分会投稿)

組合員・社員の想いを 年末手当標語にこめて

新潟運輸区分会では、年末手当要求満額を勝ち取るために、「年末手当標語」を全組合員で取り組むこととができました。

11月7日・8日には常駐体制を組み、昼食を囲みながら年末手当の情勢や職場の課題を話し合い、集まった標語をもとに、掲示板の大きさいっぱいの掲示を作成しました!

(新潟運輸区分会 投稿)



(新潟運輸区分会投稿)